

新たな時代を切り開き、力強く生き抜く人財を育てる

## 「未来人財育成塾」開催概要

会津若松市は、「稽古堂」や会津藩校である「日新館」など、古くから人材の育成、教育に力を注いできた地であり、現代においても、その先人達の思いに倣い、新しい未来を創造するたくましい子どもたちの育成に取り組んでいるところであります。

この度、成熟社会における成長の一つのモデルであり、日本が先進国として直面する課題の解決と新たな可能性の創造によってもたらされる豊かで快適でプラチナのように威厳をもって光り輝く社会の構築を目指す、プラチナ構想ネットワークの皆様のご協力により、「未来人財育成塾」を開校することといたしました。

次の時代を創っていく子どもたちが、2050年の未来に夢を描き、目標を持って力強く生きていくためには、私達大人が、子ども達との「対話」をとおして、輝く未来への道筋を示していくことが必要であると考えております。

私達は、各々が生きてきた時代の変遷と、私達自身に課せられてきた課題をきちんと子ども達に伝えるとともに、豊かで輝かしい未来に向けた、多様な可能性とその道筋を提示していかなければなりません。

このため、「未来人財育成塾」は、各分野において、日本、世界のトップランナーとして活躍する講師陣による講義と日本の原点たる地方の特色を活かした様々なプログラムを用意し、子ども達の豊かな感性、想像力、探究心を大きく育むとともに、多くの友人との出会いをとおし、自分の考えを他者に伝える手段や他者を敬う心、さらには協調して課題解決を図ることを学ぶことによって、多様な発想と革新の意識「あすなろの心」を持って、新たな時代を切り開き、力強く生き抜く『人財』を育てて参ります。

## 事業概要

- 1 開催日程  
平成 25 年 8 月 19 日（月）～8 月 23 日（金）（5 日間；4 泊 5 日）
- 2 開催場所  
福島県会津若松市
- 3 講義会場等（予定）  
**講義会場**  
会津若松市生涯学習総合センター/会津若松市文化センター/  
ホテルいづみや  
**宿泊会場**  
ホテルいづみや
- 4 対象  
中学生（1 年生～3 年生） 60 名
- 5 参加費  
20,000 円

## 応募要項

応募要項の詳細につきましては、6 月 17 日（月）に新生日本・再生故郷実行委員会ホームページ「未来デザイン 2050」上で発表いたします。

- 1 募集期間  
平成 25 年 6 月 17 日（月）～7 月 12 日（金）必着
- 2 申し込み資格
  - ① 平成 25 年度に、中学校（海外の学校に在籍・留学中も可）に在籍していること。
  - ② 塾の全てのプログラムに参加できること。
  - ③ 塾開催の全ての期間、他の参加者と協調し、迷惑をかけることなく生活ができること。
  - ④ 所定の参加費とその他必要な経費を負担できること。
- 3 参加者の決定  
申し込まれた方が多数の場合は、書類選考により参加者を決定いたします。

## カリキュラム概要

未来人財育成塾のカリキュラムは、以下の4つの区分により実施いたします。

日本、世界のトップランナーとして活躍する講師陣による講義と日本の原点たる地方の特色を活かした様々なプログラムを用意し、子ども達の豊かな感性、想像力、探究心を大きく育みます。

①政治	憲法、国会、行政、民法等
②経済	金融、国際、実務等
③科学	生物、宇宙、地球、医学等
④その他	社会学、文化、スポーツ等

## 講師陣（予定）

※五十音順

明石 康氏	元国際連合事務次長 公益社団法人国際文化会館理事長
安藤 忠雄氏	建築家 東京大学名誉教授
小泉 進次郎氏	衆議院議員
小宮山 宏氏	東京大学前総長 プラチナ構想ネットワーク会長
佐藤 勝彦氏	東京大学名誉教授
白川 方明氏	前日本銀行総裁
丹呉 泰健氏	元財務省事務次官 内閣官房参与
徳川 恒孝氏	徳川宗家第18代当主
永山 治氏	中外製薬株式会社代表取締役会長
野依 良治氏	独立行政法人理化学研究所理事長 ノーベル賞受賞者
長谷川 眞理子氏	国立大学法人総合研究大学院大学教授
原 真人氏	株式会社朝日新聞社編集委員
松尾 邦弘氏	元検事総長
松宮 亮二氏	陶芸家 津軽金山焼窯元
山本 邦山氏	尺八奏者 元東京芸術大学教授 人間国宝

## 運営主体

主 催	新生日本・再生故郷実行委員会
共 催	会津若松市 会津若松市教育委員会 公益社団法人会津青年会議所 (予定)
後 援	復興庁 文部科学省 福島県 福島県教育委員会 (予定)
協 力	プラチナ構想ネットワーク ファミリービジネス研究所

## 「プラチナ社会」とは

人口減少、急激に高齢化する社会、地球温暖化等、我が国が直面している現状において、老朽化していく都市インフラ、活力を失う地方の市街地、荒廃する農地、財政を圧迫する社会保障全般、人財養成の困難とその海外流出、新たな負担となった地球環境への対応等、具体的かつ様々な課題が生じています。

「プラチナ社会」とは、物質的な豊かさを達成した先進国ならではの課題に対し、新しい社会システムの構築、新しいビジネスの創造を通じて、我が国が「課題解決先進国」として世界に先駆けて示すことのできる、成熟社会における成長のモデルです。その必要条件は以下のとおりです。

- エコロジーで（人間にとって快適な自然環境の再構築、環境との調和・共存）
- 資源の心配がなく（エネルギー効率の向上、自然エネルギー活用、物質循環システムの構築）
- 老若男女が全員参加し（生涯を通じた成長、社会参加の機会創造、健康で安心して加齢できる社会）
- 心もモノも豊かで（文化・芸術に彩られた暮らし、飽和・停滞を打破する「限界を超えた成長」）
- 雇用がある社会（イノベーションによる新産業の創出）

「プラチナ構想ネットワーク」はこの「プラチナ社会」の実現を目指し、日本中に快適で活力あるワンランク上のまちづくりを進めるための全国規模の連携組織です。知事や市町村長、企業経営者や学識者などが会員となり、プラチナ社会実現のための政策的課題の解決策を政界、産業界、市民に発信し、動きを促すことを目的として活動しています。

### 【新生日本・再生故郷実行委員会】

住 所：〒965-8601 福島県会津若松市東栄町3番46号  
（会津若松市 企画政策部 企画調整課 内）

電話番号：0242-39-1201

FAX 番号：0242-39-1400

e-mail:sinsei-project@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp

HPアドレス：未来デザイン2050 <http://mirai-design2050.com/>